

アーツコミッション・ヨコハマ 15周年記念フォーラム

クリエイターとともに、 都市と芸術の交わる “新領域”をさがす

これまでアーツコミッション・ヨコハマ事業(ACY)は、芸術×不動産、芸術×社会包摂、芸術×地域経済活動など様々なテーマで実験的プログラムを行ってきました。今回のフォーラムでは、15年間の都市環境の変化をふまえ、芸術文化、まちづくり、教育、子育て、新しい働き方、シビックエコノミーなどをテーマに、“都心／郊外”それぞれの活動や場の可能性を議論。横浜の“今”を知り、登壇者や来場者とのネットワークを深める機会とします。



吉本 光宏



安食 真



田口 竜太郎



大野 愛



小笠原 新也



川島 史



渡辺 篤



藤原 徹平



熊谷 玄



後藤 清子



森 祐美子



森川 正信

2022年

8月4日(木)

14:00～17:00

横浜市庁舎 1階

横浜市市民協働推進センター スペース A・B

参加無料 / 事前申し込み制 / 先着 50名

<https://acy.yafjp.org/projects/2022/71896/>



主催・問合せ：アーツコミッション・ヨコハマ（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団） 共催：横浜市文化観光局
TEL：045-221-0212 Email：acy@yaf.or.jp

ACY
ARTS COMMISSION YOKOHAMA

第1部

日本初の地域アーツカウンシルであるアーツコミッショナ・ヨコハマ。そもそもアーツカウンシルとは何か。その発祥とされる英国アーツカウンシルの原点を振り返りながら、日本における地域アーツカウンシルの潮流や役割について、専門家にお話しを伺います。

①「アーツコミッショナ・ヨコハマの15年」を振り返る

登壇者：杉崎 栄介（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ チームリーダー）

②ミニ講演「ACYから地域アーツカウンシルを考える」

登壇者：吉本 光宏（株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事・芸術文化プロジェクト室長）

第2部

発表「アーツコミッショナ・ヨコハマの現在の活動を協働パートナーとの対話から」

現在アーツコミッショナ・ヨコハマと一緒にプロジェクトを進める当事者をお招きし、横浜という場、ACYというプラットフォームを使って成し遂げたいことを担当と対話形式でお話します。

①「クリエイターの町内会をつくる」（関内外OPEN!）

登壇者：安食 真（studio nibroll 所属クリエイティブディレクター／デザイナー、関内外OPEN!幹事）

②「町方の若手がつくるアートイベント」（ミナトノアート）

登壇者：田口 竜太郎（Gallery+Sushi 三郎寿司あまね店主、ミナトノアート 2022 実行委員会委員長）

大野 愛（油彩画家、ミナトノアート 2022 実行委員会副委員長）

③「アートマネジメントの変革は当事者から」（クリエイティブ・インクルージョン活動助成）

登壇者：小笠原 新也（手話マップスタッフ）

④「公民連携による新しい文化拠点のつくり方」（BUKATSUDO）

登壇者：川島 史（BUKATSUDO マネージャー）

⑤「アーティストを育む都市・横浜」（各種助成）

登壇者：渡辺 篤（現代美術家）※オンライン参加

第3部

ディスカッション「横浜都心と郊外、“次なる新領域”を生み出す場とは？」

芸術文化、まちづくり、教育、子育て、新しい働き方や市民経済活動などをテーマに、「都心／郊外」それぞれの場の可能性を議論していきます。芸術と社会がつながることで起きる可能性の広がり、深まりをお話いただきます。

モデレーター：藤原 徹平（建築家、横浜国立大学大学院准教授、フジワラテッペイアーキテクツラボ主宰）

パネラー：熊谷 玄（ランドスケープデザイナー、STGK Inc. 代表）

後藤 清子（株式会社ピクニックルーム 代表）

森 祐美子（特定非営利活動法人こまちぶらす 理事長）

森川 正信（クリエイティブディレクター、マスマスクエア株式会社代表）

ご参加希望の方は、右記申込フォームより、お申し込みください。

【情報保障を必要とされる方、車椅子でご来場の方の座席確保について】

手話通訳を必要とされる方には手話通訳者の前のお席を、車椅子でご来場される方には最前列にお席をご用意しますので、申込フォームにてお知らせください。

<https://forms.gle/gJzJn8uf6mzv2y647m7>

